

地球温暖化対策計画書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	みなと医療生活協同組合
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	名古屋市熱田区五番町4-33
工場等の名称	協立総合病院
工場等の所在地	名古屋市熱田区五番町4-33
業種	医療、福祉
業務部門における 建築物の主たる用途	病院・医療関連施設
建築物の所有形態	自社ビル等（自ら所有し自ら使用している建築物）
事業の概要	病院（第二次救急医療機関）
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策計画書の公表方法等

公表期間	令和4年10月17日 ～ 令和7年3月31日		
公表方法		掲 示 閲 覧	（場 所） 協立総合病院1F防災センター窓口
		ホ ー ム ペ ー ジ	（HPアドレス）
		冊 子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	052-654-2211		

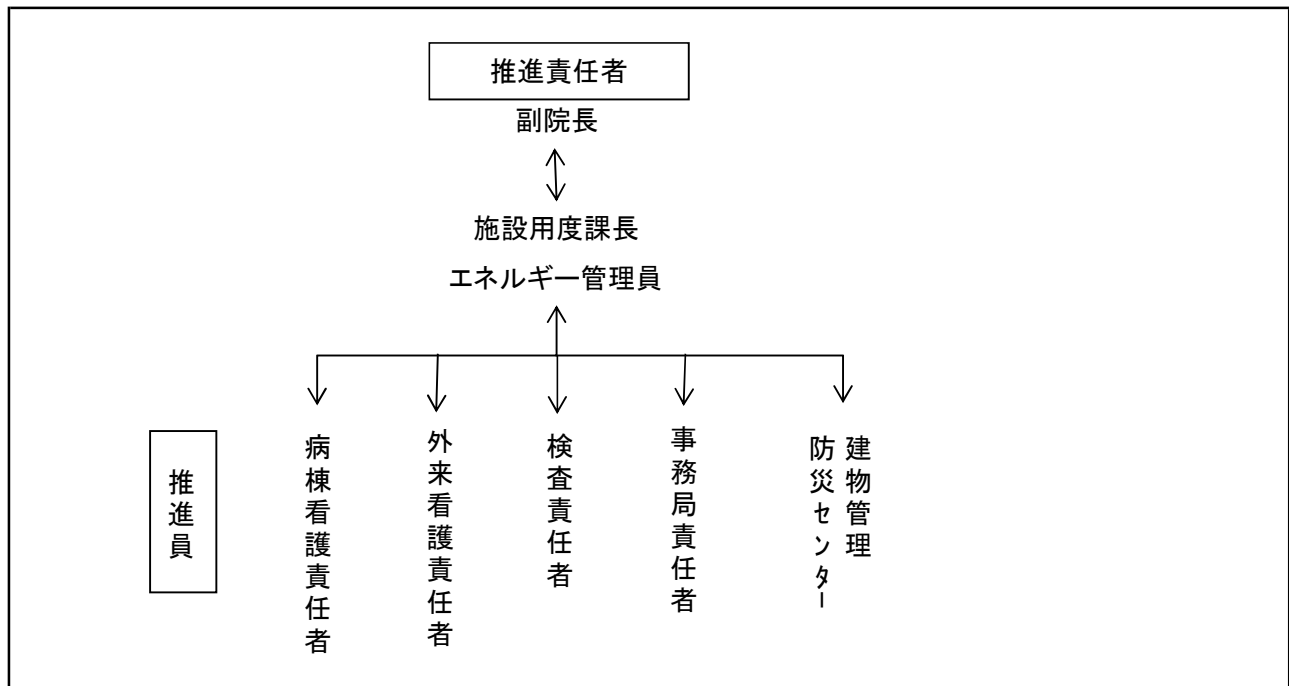
3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

地球温暖化対策を推進させる為、当事業所において下記のような方針を定めます。

- ・ 照明・空調・動力等の運用において無駄なエネルギーを使用しないように努める
- ・ 省エネルギー機器の導入に努める
- ・ 廃棄物の発生抑制・リサイクルの推進に努める
- ・ 省エネ意識を向上させるよう、職員に対する環境教育を推進する

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和 3 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		2,920	t-CO ₂
① （温を 二室除 酸効く 化果 炭ガ 素換 排出 量）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		2,920	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度 令和 3 年度 排出量（実績）		目標年度		令和 6 年度	
			目標排出量		目標削減率	
温 室 効 果 ガ ス 総 排 出 量	2,920	t-CO ₂	2,832	t-CO ₂	3.0	%

項 目	基準年度 令和 3 年度 排出量（実績）		目標年度		令和 6 年度	
			目標排出量		目標削減率	
原 単 位 あ た り の 排 出 量		CO ₂		CO ₂		%

（2）目標設定の考え方

温室効果ガスを1年間に1%ずつ、3年間で3%削減する

- 備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標
一般管理 (エネルギー使用量等の把握及び管理)	・エネルギー使用量の記録・分析して使用実態を把握(消費量 独自の見える化表作成) ・設備運転管理方法 管理標準で運用 ・熱源運転管理(中間期での適切な熱源、空調等運転管理)	データを可視化し、得られた情報を機器の運用や更新計画に活用する。
省エネルギー・省資源の推進 (冷暖房)	・温度の管理(冷房28℃、暖房19℃) ・全居室の空調リモコンへ節電協力シール貼付 ・ブラインドの活用、1F待合 窓ガラスへのよしず設置による日射負荷の減少(夏期) ・扇風機やサーキュレーター活用	適正な温度設定がされているか定期的に確認する
省エネルギー・省資源の推進 (設備運転の効率化)	・コージェネの適正運転(排熱需要時間帯を考慮した運転) ・熱源機を1H前に運転停止し余熱を利用し運用する(中央方式の熱源) ・扇風機やサーキュレーターの活用	各設備の無駄のない運用を徹底する
省エネルギー・省資源の推進 (点検及び運転管理の適正化)	・外気取入量の管理による空調負荷軽減 ・外気温度や室内環境をチェックし熱源や空調機の間欠運転(主に中間期) ・フィルター清掃、ベアリンググリスアップを定期的に行う	実施状況を定期的にチェックし確実に実施する
省エネルギー・省資源の推進 (高効率機器への更新)	・機器の取替・更新時は高効率機器を指定	機器更新時には、高効率型を選定する
省エネルギー・省資源の推進 (照明・FCU)	・昼夜 不必要な照明を消灯 ・LEDへの更新(順次) ・診察終了後の待合照明・空調停止連絡の徹底 ・間接照明を実施する	LED順次変更 ※点灯時間が多い箇所から順次交換 (病棟ナースステーション)
省エネルギー・省資源の推進 (OA機器)	・電源オプションの設定でパソコン消費電力を抑える ・退勤時や使用しないパソコンは電源オフを周知徹底	独自の省エネニュースを作成し、院内配布 周知させる
省エネルギー・省資源の推進 (その他)	・夜間時のエレベーター稼働台数を減らす ・警備巡回時に、使用していない場所の空調スイッチ停止及び照明の消灯実施	警備日誌にチェック項目追加し、毎日実施する
自動車利用における取組	・駐車場に『アイドリングストップ』掲示	警備日誌にチェック項目追加し、毎日実施する 駐車場内に貼紙を設置し利用者へ周知する

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

ア これまでに実施している再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 計画期間における再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

--

(3) 環境価値（クレジット等）の活用

--

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

・古紙のリサイクル推進 ※新たに雑紙用の分別ボックスの設置 ・メールの活用で紙の発生を抑制する

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

空調フィルター清掃状況を確実に実施していることをチェックし、空調の効率化に努める
--